

特集

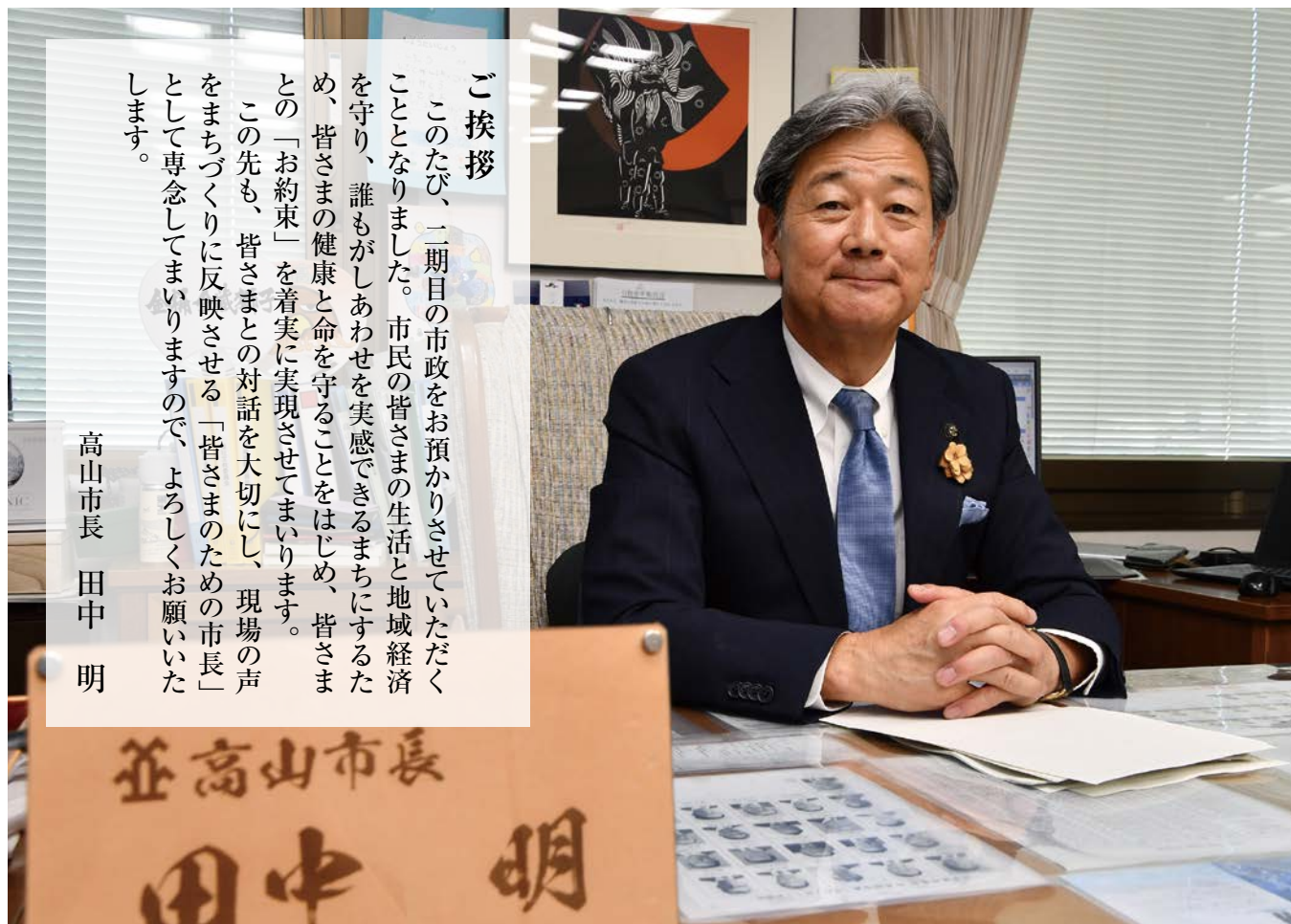
Takayama

谷広報たかやま



田中市長
2期目が
始まりました!





ご挨拶

このたび、二期目の市政をお預かりさせていただくこととなりました。市民の皆さまの生活と地域経済を守り、誰もがしあわせを実感できるまちにするため、皆さまの健康と命を守ることをはじめ、皆さまとの「お約束」を着実に実現させてまいります。

この先も、皆さまとの対話を大切にし、現場の声をまちづくりの反映させる「皆さまのための市長」として専念してまいりますので、よろしく願います。

高山市長 田中 明

3つの柱

で
ふるさと飛騨高山を
もっと暮らしやすく

①くらしを守る

「命と暮らしを守り、誰もが安心して暮らせるまちへ」

地域医療の充実

- 2つの中核病院をつなぐ「医療のセンター化」
- 医療に就くための環境の強化
- 医療と介護の「ワンストップ窓口」設置
- 温かい医療・健康文化づくり「健康地域宣言」



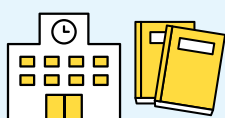
福祉・介護の充実

- 介護しやすい環境を整え、介護に携わる人の暮らしを支える
- 医療から介護につながる環境を充実させる
- 高齢者、障がい者、ひきこもり、生活困窮者の自立を支援
- 「認知症フレンドリー社会」の実現



子育て・教育の充実

- 学校給食完全無償化と高校卒業まで医療費助成を継続
- 「暮らしと営み応援クーポン」を発行し暮らしを応援
- 不登校対応の教育環境をさらに充実
- 安心して自分らしく過ごせる「居場所」を確保



防災・安全安心の強化

- 地域防災力の強化として、実践的な訓練や防災リーダーの育成を通じて、災害に対応できる人材を育てる
- 消防・救急体制の確立、より実情に合った消防団体制の維持、医療機関と連携した搬送体制の整備



②いとなみを育てる

「地域の産業と人を育て、
飛騨高山の活力を未来へつなぐ」

地域産業・ ものづくりの振興

- ものづくりの連携強化として、ものづくり教育環境をより充実させて、地域でものづくりに携わりやすい環境整備
- ものづくりの担い手と資格取得、人材確保への支援
- 「暮らしと営み応援クーポン」を発行し事業者を応援

農林畜産業の 振興

- 林業のサプライチェーンの確立・山からまちへつながる産業へ
- 持続可能な農林畜産業の確立
- 飛騨牛・飛騨の野菜や米、農畜産品の販売促進支援とブランド強化



若者・女性の 活躍支援

- 若者の活躍と地元定着へのサポート強化
- 女性に特化した活動や就業支援の実施
- 若者がチャレンジできる取り組みの強化
- 若者のための就業支援の強化

観光と地域の 共生

- 宿泊税は様々なまちづくりの取り組みにも活用
- 住む人も訪れる人もお互いを尊敬し合える環境づくり
- 中心部から周辺部への観光の誘導
- 観光を活用した、持続可能な地域づくりの推進

③まちを整える

「魅力あるまちをつくり、
未来の世代へつなぐ」

景観・環境の 保全と創造

- 荘川町六廐の産業廃棄物最終処分場建設に反対
- 飛騨高山にふさわしい景観の保全・創出
- エネルギーの地産地消、新ごみ処理施設の安定稼働などを推進し、脱炭素社会と循環型社会を実現
- 乗鞍・穂高連峰、御嶽山など山岳エリアの保護と活用を推進

芸術・文化 ・スポーツ

- 芸術・文化・スポーツ・映画・芸能などを鑑賞・観戦する機会の創出や支援を実施
- 市民の皆さんの様々な芸術・文化・スポーツ活動への支援



道路・ インフラ整備

- 道路・上下水道・河川整備の強化
- 砂防堰堤、トンネル、橋などの社会インフラを、自然と融合した新たな景観として活用
- 市街地から周辺部の空き家の活用



便利で使いやすい 市役所へ

- DXの活用や制度の見直しにより、行かなくてもよい市役所、書かなくてもよい市役所、情報が届きにくい人への配慮を実践し、利用しやすくなるよう市民サービスを向上

田中市長に質問！

Q 高山市の一番の魅力は？

A 「人」です。豊かな自然や歴史はもちろんのこと、市民の皆さんの温かいおもてなしの心や地域との絆が高山の魅力だと考えています。

Q 10年後の高山市をどんなまちにしたい？

A 若者が主役の活気あるまちを目指しています。若者が「住み続けたい」「戻りたい」と思えるよう、地元企業との連携によるキャリア教育、交流・創業支援を強化し、若者が主体的に市政に参加できる仕組みを作ります。

Q 市民の皆さんに一番伝えたいメッセージは？

A 市民の皆さんの命を守ることを何よりも大切に、市政運営に取り組んでまいります。



市長プロフィール

- 生年月日：1961年2月14日(65歳)
- 住所：愛宕町
- 最終学歴：東海大学文学部北欧文学科
- 職歴：大学卒業後、東京都内の商社に勤務。昭和62年に高山市役所入庁。退職後はインバウンドなど観光政策に携わる会社を起業。令和4年9月、第11代高山市長に就任。
- 趣味：ギター、フィットネス、映画鑑賞
- 好きな言葉：Go for it!
(目標に突き進む)
- 尊敬する人：何事にも思いを持って取り組む人全て。そういう人たちの言葉には説得力があり、心が動かされます。
- 好きな映画：きみに読む物語
- 好きな本：マークスの山
- 好きな食べ物：カレーライス
- 好きなお笑い芸人：サンドウィッチマン



身長：179cm

市長選挙投票率は66・16%
前回より1・29ポイント上回る

8月23日(日)に告示された市長選挙は、益田大輔さん、田中明さんの2人が立候補し、30日(日)に行われた投票の結果、田中明さんが当選しました。
投票日当日の有権者数は6万7,607人で、投票者数は4万4,727人、投票率は66・16%で前回の市長選挙(64・87%)を上回りました。

市長選挙の結果

氏名	得票数	当選
益田 大輔	21,216 票	
田中 あきら	23,155 票	○

※届け出順



こども選挙



今回の高山市長選挙に合わせ、有志の中高生23人が「たかやまこども選挙管理委員会」を立ち上げ、東海3県で初となる模擬投票「たかやまこども選挙」を行いました。
本物の投票箱を使って高校などで期日前投票が行われたほか、投票票日には商業施設など4カ所に投票所が設けられました。
また、投票用紙には、候補者名だけでなく、今後の高山への思いや願いも書き込まれました。
投票票日翌日の8月31日には、委員長の切手佑樹さんが田中市長を訪問し、投票結果や投票に参加したこども有権者の思いを届けました。
投票結果やこども有権者の思いは、益田さんにも届けられました。

開催します!

市長室へようこそ (市民と市長の面談日)



- 10月21日(水)
16:30-18:00
 - 10月26日(月)
13:30-15:00
- ※事前に予約ください。

QRからお申し込みください。申込多数の場合は抽選となります。

申込期限：10月7日(水)
抽選結果は10月9日(金)までにお知らせします。



▲申し込みはこちらから

問合せ 秘書交流課 ☎35-3130 FAX36-2060

編集・発行／高山市市長公室広報聴課

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地

TEL/0577-32-3333(代)

FAX/0577-36-2060 (市長室直通)

FAX/0577-35-3174 (広報聴課直通)

E-mail/kouhou@city.takayama.lg.jp
HP/https://www.city.takayama.lg.jp/



QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です。